

珍しい交響曲 ポーランド Minor Symphonies Poland

作曲家	生没年	交響曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ★★★★:聞く価値はある ★★:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル
Franciszek Mirecki	1791-1862		交響曲ハ短調(1855)	☆☆☆☆	短調のムードが濃い第1, 3楽章は聞き映えがします。長調の第4楽章は楽天的。		DUX 1901	DUX
Josef Wieniawski	1837-1912		交響曲ニ長調(1890)	※※	作曲者はヴァイオリン協奏曲で有名なヘンリク・ヴィエニャスキの弟。特に聴きどころ無し。		DUX 1901	DUX
Zygmunt Noskowski	1846-1909	3	交響曲第1番(1875)	※※	4楽章で36分。ポーランド風味は無く、ドイツの交響曲と区別が付かない。		C5509	Capriccio
			交響曲第2番 エレジー風(1879)	☆☆☆☆	聞き映えがします。			
Ignacy Jan Paderewski	1860-1941	1	交響曲 副題:ポーランド(1908)	★★★★★	第1次世界大戦後の1919年(1月~11月)にはポーランドの首相も務めたこともある著名なピアニストの作品。3つの楽章で65分の大曲。 旋律や素材はありきたりのものですが、大変豪華なオーケストラの音がします。祖国ポーランドを思う気持ちも伝わってきます。 終楽章の後半で突然民族的な旋律が登場して大変盛り上がり、最後は大迫力の祝典ムードで、ライブ録音での大喝采も納得です。		NIFCCD 065	NIFC
Zygmunt Stojowski	1870-1946	1	交響曲 ニ短調(1898)	※※	第1楽章の前半は、これこそ短調の交響曲という響きがします。以降は長調になります。		C5464	Capriccio
Witold Maliszewski	1873-1939	4	交響曲第1番(1902)	☆☆☆☆	同時代のドイツ、フランス、ロシアの交響曲とは違う音がします。短調の響きが気持ちよく大変聞き映えがします。		DUX 1716/17/18 管弦楽作品集	DUX
			交響曲第2番(1905)	☆☆☆☆	長調のためか、第一番よりは軽い内容。どの楽章も聞き映えはします。			
			交響曲第3番(1907)	※※	第1楽章はふたたび短調の響き。第3楽章は変奏曲形式。やや独自性が薄くなった。			

				交響曲第4番(1923) 再生し復興した祖国に	※※	第一次世界大戦後の第二次ポーランド共和国の成立を記念した曲。第1楽章の第一主題は”新世界”の第1楽章の第一主題と酷似。第1楽章は祝典な雰囲気もありますが、第2楽章以降は軽い感じ。			
Karłowicz M.	カルウオービッチ	1876-1909	1	交響曲(1903)復活(再生)	☆☆☆☆	第1楽章の冒頭は大変聞きごたえがあります。他の部分も聞き映えがします。第4楽章後半に登場するコーラルはやや安っぽく感じます。	8.572487	NAXSOS	
Grzegorz Fitelberg	フィテルベルク	1879-1953	2	交響曲 第1番 ホ短調 (1904)	※※	4楽章で28分。第1、4楽章は聞き映えがしますが、短いのが残念です。	Dux2022 この交響曲のみ集録の 短いCD	Dux	
Szymanowski	シマノフスキー	1882-1937	4	交響曲第2番(1910)	☆☆☆☆	第1楽章は室内乐的。第2楽章は聞きごたえがあります。	LPです。 L28C1118	LONDON	
				交響曲第3番 夜の歌(1916)	☆☆☆☆	テナー、合唱が入ります。気持ちの良い響きがあります。			
Raul Koczalski	コチャルスキ	1884-1948	2	幻想交響曲(1914頃)	※※	4つの楽章とも、なよなよとした感じで終始します。	AP0505	Acte Prealable	
Paul Kletzki	クレッキ	1900-1973	3	交響曲第3番(1939)	☆☆☆☆	当時の前衛っぽい作風で、面白く聞けません。オーケストラも良く鳴っています。	MGB CD 6272	MIGROS	
Grazyna Waciewicz	バツェヴィチ	1909-1969	6	交響曲第2番 (1951)	☆☆☆☆	女性作曲家。4つの楽章で20分。聴き映えのする部分がたくさんあります。	555660	cpo	
Andrzej Panufnik 1961年イギリスに帰化	パヌフニク	1914-1991	10	交響曲第8番(1981)	※※	2つの部分に分かれます。第2部の後半は盛り上がりますが特に聞く箇所無し。	LPです。 28PC-72	Philips	
				交響曲第3番 (1950-1959)	☆☆☆☆	4つの楽章で34分。各楽章とも、とても魅力的です。特に第1楽章の冒頭はすばらしいです。	4862402	Dg	
				交響曲第7番(1964)	☆☆☆☆	5つの楽章で31分。弦楽とハープシコードの編成。この時期、ハープシコードの使用が流行だったのでしょうか。面白く聞くことができます。		Dg	

Mieczyslaw Weinberg	ヴァインベルグ	1919-1996	26	交響曲第12番(1975-76) ショスタコービッチの思い出 に	※※	4つの楽章で56分。1975年のショスタ コービッチの死の後に書き始められまし た。第3楽章は聞きごたえがあります。 ショスタコービッチの引用などは聞こえ てきません。		CHAN20165	CHANDOS
				交響曲第19番(1985)	※※	ワルシャワ生まれですが、主にロシアで 活動。ショスタコービッチの交響曲の中 のあまり魅力的でない部分がつながっ たような感じ。		8.572752	NAXOS
Henryk Gorecki	グレッキ	1933-2010	3	交響曲第2番(1972) 副題:コペルニクス	☆☆☆☆	ポーランドの天文学者コペルニクス(地 動説で有名)の生誕500年を記念した 曲。2つの部分からなります。和音の連 打や金管のフラッターの嵐などからなる 第1部は聞けませんが、男声、女声のソ ロにリードされる第2部の雰囲気は交響 曲第3番とそっくりで引き込まれます。		8.555375	NAXOS
				交響曲第3番(1976)	☆☆☆☆	一時、大ブームになった曲。弦楽合奏十 ソプラノ独唱。第1楽章の弦楽器による 何重にも重なっていくカノンが聴き応え があります。		7559-79282-2	Elektra Nonesuch
Krzysztof Meryer	メイエル	1943-	9	交響曲第6番(1982) ポーランド交響曲	☆☆☆☆	4つの楽章で46分。各楽章とも重苦しい 気分ですが、聞きごたえはあります。		DUX1898	DUX